

▶令和2年度当初予算の詳細については、市ホームページに掲載しています。



そのほかの主な事業

基本目標	事業名	予算額	事業概要
1 やってみたい仕事ができるまち	【拡充】日本一和牛ブランド確立事業	6億1,608万7千円	「日本一和牛のふる里かのや」の確立と第12回全国和牛能力共進会（令和4年鹿児島県開催）に向けた取り組みとして、中心的な役割を担う畜産経営体の施設等の整備とともに、繁殖農家・肥育農家における生産基盤の維持・拡大に対する支援を強化します。
	【拡充】人材確保・担い手育成事業	5,730万6千円	企業情報をデータベース化した就職支援サイトの構築や地元企業へのインターンシップを実施することで、高校や大学等の新規卒業者やU・Iターン希望者の地元企業への就職率を高め、定住人口の増加と産業の活性化を図ります。また、農畜産業後継者等への機械導入支援や新規就農研修資金等の支援を行い、担い手育成・確保を通じて地域の農業の維持・発展を図ります。
2 いつでも訪れやすいまち	【新規】戦争遺跡保存活用事業	1,300万5千円	米国国立公文書館等から収集した戦争関連資料を活用した「戦後75年平和パネル展」の開催や本市に残る貴重な戦争遺跡の映像化を行い、平和をテーマとした文化・観光振興を推進します。また、劇団INDIGO PLANTSによる舞台「桜舞～花征きて～」を開催し、平和の尊さを全国へ発信します。
	【拡充】オリンピック・パラリンピック関連事業	607万7千円	4月28日（火）に本市で実施される東京2020オリンピック聖火リレーや、オリンピック・パラリンピックへの出場が期待される本市にゆかりのある選手を応援することで、選手の活躍祈願とスポーツの機運醸成を図ります。
	【拡充】スポーツ施設整備事業	1億4,108万1千円	串良平和公園陸上競技場、鹿屋運動公園野球場・陸上競技場の改修等、施設の整備を進めることで、スポーツに取り組みやすい環境づくりと、スポーツ合宿・交流の促進を図ります。
3 子育てしやすいまち	【継続】保育所等施設整備事業	2億4,583万9千円	保育所等が実施する定員増や耐震化等の施設整備の費用の一部を助成し、潜在的な待機児童の解消や安全安心な保育環境の確保を図ります。
	【継続】学校環境整備事業	9億2,157万7千円	寿北小学校や笠野原小学校の空調化を推進するほか、生徒数の増加に伴う鹿屋東中学校の増築工事と併せて、同校の空調化を推進します。
	【継続】鹿屋女子高活性化事業	5億4,455万1千円	生徒一人ひとりの進路希望に対応する総合選択制の本格導入やICT教育環境のさらなる充実など、新しい時代に対応した特色ある取り組みを推進するとともに、芸術系教科の特別教室等を配置する3号棟やグラウンドの改修等を実施し、平成30年度からの施設整備を完了します。
4 住みよくなる未来につながるまち	【拡充】防犯・交通安全推進事業	3,083万6千円	令和3年度までに各町内会が設置している全防犯灯のLED化を行い、犯罪が発生しにくい安全安心な環境整備を図ります。また、小学校近辺の通学路へのグリーンベルトの設置や横断歩道のカラー化による安全対策を進め、交通事故の防止に努めます。
	【継続】防災・減災対策事業	1億3,955万円	市内各所で発生している浸水・冠水の改善に向け、公共用地を利活用した雨水流出抑制施設の設置を進めます。また、平成30年度から実施している農村地域防災減災事業における排水路等の整備や、市の管理する河川の浚渫等の実施により、災害に強いまちづくりを推進します。
5 いきいきと暮らせるまち	【拡充】健康寿命延伸事業	1,378万円	市民誰もが、より長く元気に活躍できる地域を目指し、AIを活用した効果的な受診勧奨などによる生活習慣病の発症予防、重症化予防や市民の日常的な健康づくり活動の促進など、健康寿命の延伸を図る取り組みを推進します。
	【拡充】地域コミュニティ活動推進事業	2,414万円	吾平・高隈のコミュニティ協議会への支援に加え、新たに設立予定である串良地域の2つの地域コミュニティ協議会への支援を行い、地域の課題解決に向けた体制づくり及び地域コミュニティ活動の推進を図ります。また、輝北地域において「地域全体で助け合うまちづくり講演会」を開催し、防災意識を高めるとともに、地域全体での自助・共助の機運醸成を図ります。

新規 新たな取り組みによる事業

拡充 既存事業の内容や対象を広げ、更に一部新規の取り組みを取り入れた事業

市政運営

総合計画の基本目標を効率的に進めるとともに、持続可能な行政運営に努め、市民の声を市政に生かした施策に取り組みます。

【予算額】21億8,144万2千円



【拡充】RPA導入事業

1,141万2千円

RPAの導入により、行政事務の効率化を図る対象業務や対象部門を拡大し、ICTの積極的な活用による経費節減と生産性の向上を目指す職場改革を進めます。【情報行政課】

※RPAとは、これまで人間のみが対応可能とされていた作業等を、AIなどの認知技術を活用し代行・代替する取り組みのこと



【拡充】自治体クラウド導入事業

780万4千円

情報システムに係る管理作業・職員負担の軽減とコスト削減、大規模災害時のデータ保全・業務継続性の向上などが図られる「自治体クラウド」の導入に向けて、令和元年9月に県内6自治体で設立した「かごしま自治体クラウド協議会」で確認された事項に基づき、各自治体間の情報システムの外部データセンターへの集約や共同利用するためのシステム設計、構築に取り組みます。【情報行政課】



【新規】キャッシュレス納税導入事業

144万4千円

納税者の利便性向上を図るため、スマートフォンアプリ（LINE Pay、PayB、PayPay）やクレジットカード（10月以降）による納税など、キャッシュレス決済を導入します。【収納管理課】

基本目標5

地域福祉の充実や、健康づくり・生きがいづくり、地域コミュニティ活動の推進に取り組みます。



【予算額】13億2,124万8千円



【拡充】次代につなぐふるさと文化事業

417万5千円

市民の郷土への愛着を高め、貴重な伝統文化の保存・継承を行うため、伝統芸能の映像記録や「かのや風土記」の編さんに取り組みます。また、官民連携した文化合宿の実施など、令和5年度に鹿児島県で開催が予定されている「全国高等学校総合文化祭」の誘致に向けた取り組みを行います。【生涯学習課】



【拡充】地域包括ケア推進事業

【介護特会】1億6,630万4千円

地域包括支援センターの体制強化や、高齢者に対する地域での支え合い活動の充実など、高齢者とその家族が住み慣れた地域で、安心して生活を続けることのできる地域包括ケアシステムの構築を図ります。【高齢福祉課】



【新規】女性が奏でるまちづくり事業

93万3千円

SDGsへの取り組みの一つとして、女性を中心としたワークショップ等を開催し、市民が生活の中で日々感じていることを出し合い、魅力ある持続可能なまちづくりを推進します。【市民課】

豊かな自然を次代に引き継ぐ「環境保全プロジェクト」

- パトロールの実施や監視カメラによる、不法投棄監視体制の強化
- びん類の再商品化などの資源のリサイクル化

「ふるさと納税」でいただいた寄附金は、寄附者の意向に沿った事業に活用されています。令和2年度も、このように、地域活性化をはじめとした様々な事業に活用される予定です。